

ーコロナ禍で思うことー

みなさん、こんにちは。山崎です。新型コロナウイルスが世界的に感染拡大する中で、私たちの生活も大きく変わりました。いろいろなイベントが中止になったり、外出自粛で不自由な思いをする一方で、「おうち時間」の楽しみを見つけた方もいるかもしれません。

福作では感染防止策として、職員も利用者さんも毎日の検温、マスク着用、手洗い、換気と消毒をまめにして、密集を避けるために作業や食事をする場所を分けるなど、出来る限りのことをしています。

利用者さんもこれまでとは違う空気を感じ取っているようです。マスクが苦手だった方が、ご家族の手作りマスクを付けられるようになったり、登所自粛で休んでいる人を気遣ったり、イベントの中止を「コロナ対策だから仕方ないね。」と言って受け入れている姿がありました。

作業所の限られたスペースで、「三密」を避けることは簡単ではありません。今日まで福作で感染者がいないのは、ひとりひとりの協力の成果だと思います。

ようやく緊急事態宣言は解除されましたが、自分と身近な人を守るために「予防」が大切であることは変わりありません。「新しい生活様式」のうち、感染予防の3つの基本は、「①人との距離をとる（ソーシャル・ディスタンス）、②マスクをつける、③手洗い」です。これらをひとりひとりが守って、安心して笑顔で過ごせるようにがんばりましょう。

